（＊１）負債に計上されているものは、（　）で示しております。

（＊２）ＰＦＩ債務は、長期ＰＦＩ債務及び短期ＰＦＩ債務の合計額となります。

なお、貸借対照表に計上されている長期未払金の主な内容はリース債務であり、企業会計基準適用指針第19号金融商品の時価等の開示に関する適用指針（平成20年３月10日企業会計基準委員会）第24項ただし書きにより、金融商品会計基準等の適用にあたり重要性が乏しいと認め、時価の注記を省略しております。

⑶　金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の３つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

①　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債　（単位：千円）

	時価			
	レベル１	レベル２	レベル３	合　計
⑴　投資有価証券及び有価証券				
②売買保有目的の債券	1,687,660	238,370	—	1,926,030
③その他有価証券	16,746	—	3,750	20,496

②　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債　（単位：千円）

	時価（＊１）			
	レベル１	レベル２	レベル３	合　計
⑴　投資有価証券及び有価証券				
①満期保有目的の債券	1,547,460	132,015	—	1,679,475
⑵　大学改革支援・学位授与機構債務負担金	—	(4,526)	—	(4,526)
⑶　長期借入金	—	(31,416,085)	—	(31,416,085)
⑷　ＰＦＩ債務（＊２）	—	(11,432,475)	—	(11,432,475)

（＊１）負債に計上されているものは、（　）で示しております。

（＊２）ＰＦＩ債務は、長期ＰＦＩ債務及び短期ＰＦＩ債務の合計額となります。

（注１）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

⑴　投資有価証券及び有価証券

上場投資信託、社債及び地方債の時価について、活発な市場で取引され、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格を利用（以下相場価格）できるものは、その時価レベルを１の時価に分類しております。

外貨建ての債権については、相場価格を用いたとしても市場が活発でないためレベル２の時価に分類しております。

相場価格の入手できない新株予約権については、株式ボラティリティ等をもとに、オプション評価モデルにより算定しており、算定にあたり重要な観察できないインプットを用いている場合には、レベル３の時価に分類しております。

⑵　大学改革支援・学位授与機構債務負担金、並びに⑶長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率をもとに、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

⑷　ＰＦＩ債務

時価については、その大部分を元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率をもとに、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。一部については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に近似することから、帳簿価額をもって時価としております。

（注２）時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債のうちレベル３の時価に関する情報

⑴　重要な観察できないインプットに関する定量的情報

区　　分	評価技法	重要な観察できないインプット	インプットの範囲	インプットの平均
投資有価証券及び有価証券 ③その他有価証券 新株予約権	オプション評価モデル	株式ボラティリティ	10.34%―58.97%	29.08%

⑵　期首残高から期末残高への調整表、当期の損益に認識した評価損益　（単位：千円）

	投資有価証券及び有価証券 ③その他有価証券 新株予約権
期首残高	3,804
当期の損益又はその他有価証券評価差額金に計上	△54
当期の損益	—
その他有価証券評価差額金	△54